



しなの町

議会だより

No. 148

平成26年10月31日号



4年生 はぜかけで美味しいお米づくり

第410回 定例会 9月会議

9月会議概要	2~7ページ
一般質問(10名が町政を質す)	8~12ページ
賛否一覧表	13ページ
ぎかい活動365日	14~15ページ
わたしの出番・一茶と俳句	16ページ

9月会議概要

第410回9月会議が9月4日から25日まで、22日間の会議期間で再開されました。

9月は決算会議ですので、平成25年度の各会計決算の認定議案12件を中心に審議しました。ほかに26年度各会計補正予算案11件、条例制定・改正案6件、その他審議案8件など合計40議案が審議されました。請願・陳情審査は5件、一般質問では10名が町政を質しました。

25年度一般会計決算

歳入 59億3436万円
歳出 57億6206万円

総務産業小委員会

主な審査内容

総務費

問 法人町民税が500万円減ですが、企業の撤退による影響と、新しく誘致した企業による税収の予測は。

答 撤退による減収は700万円ほどです。誘致企業の方は、売り上げが出ておりませんので今の予測は。

会計管理費

問 25年度において差し戻した件数は。

答 25年度は把握していませんが、書類の不備などは、その都度差し戻し

農林水産業費

問 農業振興公社の設立について、25年度で、設立に向けた対策は何かありましたか。

答 決算上は積立金しか事業費がありませんでした。その点は、認定農業者や生産者組合のみならずからも指摘をいただきました。

商工費

問 25年度の目玉事業は何ですか。

答 一茶生誕250年であったため、市町村連携によるPR活動のほか、ヤクルト球団のファン感謝デーにもイベント参加しました。

民生費

問 前年対比で9900万円の減ですが、主な原因は。

答 事業による減額もありますが、人件費の付け替えによるところが大きな要因です。

問 雇用促進住宅の問題ですが、土地取得が前提となっていて、議会の議決のないまま進められていたのでは。

答 そういう前提で話を進めたつもりはありません。農政に関して、町が目玉事業が見えてこない。また、雇用促進住宅に関する

問 観光入り込み数が伸びているのに、観光業と商工業が潤ったという話を聞かないのですが。

答 交通網の整備で日帰りのお客様が大変多いことが原因であると考えます。

土木費

問 除雪事業の長期契約の期間を、5年間にした効果は。

答 中小の事業者は、計画的に機械が更新できること、除雪オペレーターの育成ができることなどメリットは大きかったと考えます。

問 豪雪時にアメダス以外に測る場所がありませんでしたので3か所設置しています。このうち、熊坂の積雪計の数値が、通常の積雪量より低めに

出るため移動しました。

(賛成討論 石川広之委員)

住民の安全・安心を守るために消防団活動は必要です。常備消防も整備されていますが、消防団の日頃の予防活動が最も重要だと思いますので、しっかり取り組んでいただくことを要望します。

児童福祉費

問 子育て支援事業のうち、支援計画の策定と

答 法改正により、子育て支援の事業計画を策定する必要が生じました。5年に一度の間隔で改定されます。

問 25年度に建設を望む町民や企業が多かったのに、26年度に至っても建設されなかったことに失望を与えたと思いませんか。

答 癒しの森事業に関しては、コンサートなどで町民にも知られてきて、利用客も増えているとのことと、町の努力を評価します。

社会文教小委員会

主な審査内容

民生費

問 前年対比で9900万円の減ですが、主な原因は。

答 事業による減額もありますが、人件費の付け替えによるところが大きな要因です。

本会議討論

反対討論

橋崎一雄議員

町職員数については「第6次行政改革大綱」に沿っていち早く目標を達成し、24年度までできました。

しかし、25年度においては、110名から116名と一気に6名の増となっています。

この増加に対する町長の答弁は「いろいろなイベントを、各課横断的に協力し合いながら土日に出て、また、代休も取れないでやっていたにしている。このために、体調を崩す職員も出ています」つまり、イベント対応のために職員を増やしたということであり賛成できません。

人件費も1851万円の増額となっています。

イベントの運営方法、イベントそのものの必要性も考え対応すべきであったと考えます。

反対討論

永原和男議員

25年度、町民の暮らしと営業を守るために、どのように取り組み、どのような成果を出したのかを基準に決算審査を行いました。

評価する主な点は、企業誘致、住宅リフォーム助成制度の継続、国保世帯主療養費9割給付の継続、福祉灯油の実施等です。

しかし、町民生活を積極的に支援した施策がほかに見当たりません。古間支館問題をめぐって町民に混乱を生じさせた、雇用促進住宅を建設できなかった、農業振興公社設立に向けた検討の形跡がない、観光・商工業の経営に有効な振興策が講じられなかったことを指摘し、この反省を新年度予算に反映させることを要望し反対討論とします。

特集：町の借金
残高について

議論・討論!!

決算特別委員会/本会議討論



子どもたちの安全のために整備された歩道

消防費

問 防災対策のうち、積雪計設置工事とは。

(賛成討論 酒井 聡委員)

前年比8%減の内容で

衛生費

問 信濃町はゴミ袋の有料化を行っています。飯綱町は実施していません。状況に差が出るのはなぜか。

答 飯綱町でも昨年度末から検討委員会にて有料化が検討されています。長野広域の中でバランスとして対応されるものと思います。

(賛成討論 佐藤仙治委員)

今後はゴミの減量化や特定健診の受診率の向上など努力をされることを希望します。

教育費

問 ふれあい広場が指定管理された効果は。

答 町が運営した時より利用者数が増えているという事です。

(賛成討論 橋崎一雄委員)

この状況についての考えは。行革大綱でも教育・

体育施設の民間委託が検討されています。総合体育館もその対象になると思いますが、教育施設3館については、町民の情操教育のために教育施設として充実させたいと思っています。

(賛成討論 酒井 聡委員) 広範囲にわたる内容の中で、適正に事業運営されていることが確認できました。パソコンリースなど、信濃町のICT教育の取り組みに対し、工夫を凝らしていることを評価します。

(賛成討論 橋崎一雄委員) 小中一貫校に関しては非常に努力されていること、交通安全対策と併せて評価をします。ただ、教育施設3館については、努力は認めますが、将来を見込んだあり方の検討も要望します。

(賛成討論 佐藤仙治委員) 各公共施設の維持管理について、考えていただきたい。

特別会計・企業会計

決算すべて認定

「伸び悩む下水道接続率」

総務産業常任委員会

主な審査内容

水道事業

問 25年度は、大きな漏水事故はありましたか。

答 大きな事故はありませんでしたが、事故の件数自体は増加傾向にあります。

問 水源を守るという意味で、森林整備等の状況と今後の見通しは。

答 条例を制定し、湧水地点が民有地である水源1か所を保護区域にしています。その他の水源に関しては公有地のため必要ないと思われま。

(賛成討論 北村照明委員)

水は大切な資源です。収益も難しい状況が確認

されましたが、一層の努力をお願いいたします。排水管の老朽化も早めの工事を望みます。

下水道事業

問 25年度の接続率について、それぞれの処理区

答 野尻処理区は76・7%で0・7%の増、柏原処理区は48・5%で2・1%の増です。

問 北部浄化センターは接続率が80%なら維持費が賄えるとなりましたか。

答 接続率80%を目標にしています。今後は修繕料が多額になりますのでバランスを考えて率を高めていきます。

(賛成討論 石川広之委員) 新たに供用開始となる地区を始め、未接続の皆さんに対しても接続を促し、加えて長寿命化工事もしっかりとやっていただきたいと要望します。

社会文教常任委員会

主な審査内容

国民健康保険

問 基金の状況について、出し入れが激しすぎて適正値がみえませんか。

答 以前は1億円を目安に積み立ててきましたが、ここ数年は自前の収入で積立ができない状態です。年度末に5000万円の残高があると安心です。

(賛成討論 酒井 聡委員) 未済額の問題と医療費や拠出金の増加など会計の維持に難しい局面もあります。納税に対する理解を深めていただきたい

町の借金残高の推移

国や自治体が事業を行うためには、まず予算を立てて行わなければなりません。

予算を立てるに当たり、自前の税金と、国や県からの補助金で賄えれば問題ありませんが、巨額投資が必要な場合、借金をしなければなりません。ここで、25年度末時点の町債(借金)の残高を検証してみたいと思います。

左のグラフは一般会計に関わる町債残高です。

下水インフラ整備に関する町債残高の推移

右のグラフは、下水道の整備に関わる町債残高です。

左のグラフは、水道事業と病院事業に関わる企

企業債残高の推移

21年度 10億1087万円
22年度 9億1093万円
23年度 8億5264万円
24年度 8億0077万円
25年度 7億4720万円

町債残高の推移 (一般会計)

21年度 31億1516万円
22年度 35億0641万円
23年度 37億8304万円
24年度 38億1685万円
25年度 40億7299万円

町民一人当たりの町債・企業債残高の推移

年度	人口(人) ※住基台帳による	起債総残高(円)	一人当たりの残高(円)
21	9713	99億3087万	102.2万
22	9591	101億8385万	106.2万
23	9455	102億1261万	108.0万
24	9281	99億5260万	107.2万
25	9191	99億1178万	107.9万

これら町の町債の償還終期(返済期限)は大体、平成30年から45年ごろまで設定されています。

左の表は、「町民一人当たりの借金残高」を表したものです。

今後、町の人口が減っていくことが予想される中で、一人当たりの負担額の軽減を図ることが求められます。

町立病院事業

問 薬品費が増えています。主な要因は。

答 単価は下がる傾向にあるのですが、取り扱う種類が増えたことが要因です。

問 1日当たりの入院患者数が減っておりますか。

答 一般病床が67・1%、療養病床が91・7%で合わせて78・9%で、今現在でも満床になりません。

(賛成討論 荒井賢蔵委員)

病院は住民の命と健康を守る皆です。若干プラズ収支は皆さんの努力あつてのことと評価します。これからも、暮らしを守る最前線で活躍されるようお願いいたします。

後期高齢者医療

問 信濃町における加入者のピークの見通しは。

答 団塊の世代が多いため人口構造です。5年から10年後にくるものと思われま。

(賛成討論 佐藤仙治委員)

医療費については数年間は上昇傾向にあるので、収入の確保に努めていただいで、持続可能な運営を要望します。

介護保険事業

問 基金の規模の適正値についての考えは。

答 決算の状況で変化するのでありますが、介護保険の認定者が思ったほど増え

ておりません。

(賛成討論 橋崎一雄委員)

少ない人数の中できめ細やかな事業に対して一生懸命活動されていることを評価します。不納欠損とならないように徴収の努力をお願いします。

(賛成討論 橋崎一雄委員)

総収入／一般会計からの繰入金

病院事業	13億7857万円 / 2億7681万円
水道事業	1億7730万円 / 0円
水道特別会計	897万円 / 282万円
個別排水処理施設	1123万円 / 700万円
特定環境保全	1211万円 / 800万円
農業集落排水	2億0554万円 / 1億5850万円
下水道事業	3億7462万円 / 2億2970万円
介護保険	8億4545万円 / 1億0602万円
後期高齢者医療	9530万円 / 2877万円
国民健康保険	13億0551万円 / 1億1016万円

※各会計の総収入と一般会計からの繰入金状況

信濃町独自の「奨学金制度」案が全会一致で成立

条例制定

委員会審査 主なもの

※国が定め、来年4月から始まる「子ども・子育て支援新制度」の中で、各市町村は、それに関連した条例を整備する必要が生じました。

以下の3条例案は、その新制度に関連して必要となった条例になります。

信濃町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

信濃町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

信濃町放課後児童健全育

成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
○児童クラブの拡充が盛り込まれています。

信濃町奨学金貸付基金の設置、管理及び処分に
関する条例

○経済的な理由で大学・短大・専修学校などに就学が困難な生徒に対しての奨学金を、信濃町が自治体として基金を設立して運営するための条例
(賛成討論 佐藤仙治委員)

今の経済状況からみて必要な制度です。他の市町村と比較しても低い額ではありませんし、償還についても有利であることから賛成します。

条例改正

委員会審査 主なもの

信濃町条例の一部を改正する条例

○国の法改正にともない、軽自動車税などの税額を改定する条例改正
(反対討論 永原和男委員)

軽自動車税の大幅アップについては、TTP交渉により他国から要求されたものです。大衆的な税が引き上げられることに対して反対します。

信濃町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○国の制度改定にともない、株取引などの資産により、「資産割」の税率部分を改定する条例改正
(賛成討論 酒井 聡委員)

国の制度変更により、一部の納税者の納税額に反映されることになりました。若干わかりづらいところもありますので、町からの十分な説明を要望して賛成します。

26年度補正予算

26年度一般会計補正予算 (第2号)

1億3954万円の増

歳入 主なもの

○地方交付税 1億5543万円の増

○繰入金 6500万円の減

○繰越金 4083万円の増

歳出 主なもの

○総務費 財政調整基金 1500万円の増ほか

○民生費 国民健康保険繰出金 6500万円の増ほか

○農林水産業費 国土調査事業測量委託 1294万円の減ほか

○土木費 道路橋梁工事請負費 1400万円の増

下水道事業繰出金 400万円の減ほか

○教育費 奨学金貸付基金

1000万円の増ほか ※補正後の歳入歳出合計 53億732万円

6500万円の増 ○繰越金 5396万円の増ほか

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計 補正予算(第1号)

9040万円の増

歳入 主なもの

○療養給付費交付金 1000万円の減

○前期高齢者交付金 1292万円の減

○他会計繰入金

歳出 主なもの

○一般被保険者療養給付費 8046万円の増

○退職被保険者療養給付金 1000万円の減

○一般被保険者高額療養費 1000万円の増ほか

憲法解釈の変更による

集団的自衛権行使

信濃町議会は「NO」の決議

請願・陳情

〈請願者〉

長野市平和委員会 会長 宮沢 彰一

紹介議員 荒井 賢蔵 (賛成多数で採択)

集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見を提出することを求める請願

農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願

人事案件

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

○委員

石川 友幸さん (柏原・再)

早川 千昭さん (野尻・再)

大草 郁男さん (平岡・新)

落合 明夫さん (古間・再)

○補充員

佐藤 守さん (荒瀬原・新)

宮澤 由起子さん (柏原・再)

松沢 勉さん (穂波・新)

町田 励治さん (古海・新)

固定資産評価委員会の委員の選任について
若月 照彦さん (柏原・再)
中村 富夫さん (柏原・再)
代表 (継続審査) 藤本 久美子 (柏原・再)

8月29日、信濃・飯綱両町の議員が一堂に会し、「上水内北部議会協議会」が開催され、総務産業・社会福祉文教の各分科会が県に対しての要望事項を発表し、それぞれが採択されました。開催に先立ち、7月9日に、信濃町地域交流施設において各分科会が開かれ、提言テーマを確認しました。各分科会の要望事項は次のとおりです。



総務産業分科会 有害鳥獣及び害虫の被害対策について

一 長野県では、ツキノワグマが人家等に接近した場、市町村長に捕獲許可を委任しています。捕獲したツキノワグマの駆除、保護、麻酔銃等の対応を速やかに実行するために県が現在とっている手続きの改善を要望します。

一 本年、県下各地でマイマイガの異常発生が確認されました。カラマツ林など山林の駆除が課題です。県として、広域的な駆除を実施するよう要望します。

県道等改良整備の促進及び一級河川等改修について

社会福祉文教分科会 「ながの結婚マッチングシステム」の推進について

一 システムの周知徹底をはかり、県内全ての市町村(社会福祉協議会)が連携して取り組めるよう未登録町村(社会福祉協議会)へのシステム参加の働きかけを強化していただきたい。

一 システム登録料の無料化をしていただきたい。

一 登録者数の拡大を図るべく、県内の民間団体や、他都道府県との連携を行い、登録データの共有などの事業提携を幅広く対応していただきたい。

一 この制度で結婚が成立した世帯に対して、結婚後の支援策など特典を検討していただきたい。

軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情
(陳情者) 軽度外傷性脳損傷 仲間の会 代表 藤本 久美子 (継続審査)

代表 (継続審査) 藤本 久美子 (継続審査)

長期振興計画での人口目標1万人は

町長「ハードルは高い」



森山 木の実議員

質問 長期振興計画の後期計画策定中ですが、人口目標1万人についてはどう考えますか。

町長 10年のうちに1万人に復活することは、やりようによってはできるのではと思うが、ハードルは非常に高いです。

一般質問

質問 町の総人口が減れば税収は減ります。生産年齢の人口も減り、老年人口の割合が増える、つまり、扶助費や高齢者への福祉費の割合も増えます。鉄道、バスの利用者も減る、そういう厳しい人口予測を想定して後期計画を策定しているのでしょうか。

質問 やみくもに実施計画を立てるのではなく、財政フレームをつけて進める方がいいのでは。たとえば町の施設の改修や修繕、維持管理の費用。また、施設の冷暖房の多くは灯油を使いますが、今後の灯油代の値上がりを見越して

質問 現実に沿った計画にするために財政シミュレーションを作ることば考えていますか。

総務課長 実施計画の中で財政計画を策定しています。

質問 現実には、情報公開について質しました。

質問 やみくもに実施計画を立てるのではなく、財政フレームをつけて進める方がいいのでは。たとえば町の施設の改修や修繕、維持管理の費用。また、施設の冷暖房の多くは灯油を使いますが、今後の灯油代の値上がりを見越して



矢保利の館の維持管理は

いますか。ふれあい広場のプールの暖房とボイラーなどはもう修繕の時期が来ています。これから町の施設を利用していくなら定期的な修繕と資金計画が必要で、しっかり財政シミュレーションを立てることが必要だと思えますが、総務課長 修繕などについては実施計画の中で見込んでいく状況です。

※他に、情報公開について質しました。



永原 和男議員

土石流災害が心配な場所は

総務課長「42箇所あります」

などの堰堤が満杯になっている。こうした状態でも土石流を防げますか。建設水道課長 年内に県と合同調査を行います。質問 大変な調査になると思いますが、この調査に期待します。ハザードマップは作成されていますか。総務課長 現在、地滑り調査中です。ハザードマップの作成は27年になります。

町独自の奨学金制度を創設した思いは

質問 奨学金制度を創設した町長の思いは。

町長 憲法26条は「国民はその能力により、等しく教育を受ける権利を有する」と定めています。

向学心に燃えている子供が、経済的な理由で学べないことは大変気の毒なことです。こ

質問 堰堤などの防災施設の設置状況は。建設水道課長 39基の堰堤が設置されています。質問 「大雨の夜は土石流が心配で眠れない」との声がある。国や県に堰堤等の設置を積極的に要望すべきではありませんか。町長 堰堤の堆積状況を、調査することを指示しました。質問 古海の袴林道沿い



29年前の土石流災害（板橋組）

の制度が、少しでも希望の光となってくれることを期待しています。

質問 教育基本法をどのように具現化したのか。

教育次長 能力があるにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な者に対し、奨学の措置を講ずるために、無利子で貸与型の奨学金制度を創設しました。

質問 教育基本法をどのように具現化したのか。

教育次長 能力があるにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な者に対し、奨学の措置を講ずるために、無利子で貸与型の奨学金制度を創設しました。

質問 教育基本法をどのように具現化したのか。

教育次長 能力があるにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な者に対し、奨学の措置を講ずるために、無利子で貸与型の奨学金制度を創設しました。

質問 教育基本法をどのように具現化したのか。

教育次長 能力があるにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な者に対し、奨学の措置を講ずるために、無利子で貸与型の奨学金制度を創設しました。

一般質問

集会所等の老朽化対策は

総務課長「町としては考えていません」



佐藤 武雄議員

質問 町内の集会所・公会堂・改善センターの維持・管理及び老朽化対策は、高齢化、過疎化により地域住民の重荷になっています。町として公共施設等総合管理計画の策定や基金の創設をし補助金を出す等要望したいが。

ふるさと振興公社の役割は

質問 今後地域への役割と展望はどう考えていますか。

町長 農家の皆さん、観光客の皆さんとの接点として、観光客を送り込む役割が求められていると思います。

質問 放置される事態も考えられると思うが。総務課長 町の建物ではないので、各集落の中で、取り壊しを行っていくのかを検討してください。

新幹線延伸対応を

質問 長電バス、信濃町関係2路線との連携や、利用は重要と考えるが。

町長 全体の事を考えて飯山からタンگرامを経由して信濃町、黒姫方面に誘客できればいいと考えています。



築36年、老朽化が進む熊倉生活改善センター

旧小学校の跡地利用は

質問 放置して3年が経過します。姉妹都市の流山市に貸し出し、有効利用していただく等考えていますか。

町長 提案はうけたまわり考えてみたいと思います。

質問 今年マイマイガの大発生による、農業被害の調査と、実態の把握は行っていますか。産業観光課長 ブルーベリーに関しては把握しておりまして、農家の規模にもよりますが、個別に2割から5割の減収です。

マイマイガの卵塊の除去計画は

産業観光課長「関係各課と検討いたします」



酒井 聡議員

質問 今年マイマイガの大発生による、農業被害の調査と、実態の把握は行っていますか。産業観光課長 ブルーベリーに関しては把握しておりまして、農家の規模にもよりますが、個別に2割から5割の減収です。

質問 駅構内の卵塊の除去処理はなされましたか。産業観光課長 駅員の皆さんに協力していただき、総出で処理に当たっています。

質問 長野市は、市民をあげた卵塊除去に本格的に乗り出しますが、当町

の計画の有無を伺います。産業観光課長 関係各課と検討いたします。質問 この大発生をきっかけに、照明のLED化を推奨してはどうですか。町長 マイマイガに関して言えば、逆に拡散する恐れも考えられます。質問 ならば、古間グラウンドの水銀灯などに罫を仕掛けて、一網打尽にしてみてもどうですか。町長 大変有効なアイデアだと思います。他に誘引フェロモンの開発を県林務部をお願いしています。

(一) 一般質問の記事と写真は質問者本人が作成します



とうもろこしナイターで信濃町をPR

保育園や児童クラブは自治体の責任で

町長「町が責任を持っていく」



荒井 賢蔵議員

いるが、あくまで保育園や児童クラブは自治体の責任で行っていくということだと思います。

災害時の支援は

質問 災害時の要援護者への対策は。

住民福祉課長 避難が確認出来ない場合には現場職員、消防団が戸別訪問して安否確認と避難支援を行っています。

質問 長期避難の時の経費は。

町長 経費のほうは手厚くみていきます。

質問 自主防災組織の進捗状況は。

総務課長 4月の総代会で結成に向けた働きかけをしました、具体的な問い合わせは2件のみです。

質問 結成に向けての資料の全戸配布を。

総務課長 1枚程度の資料は配布できるでしょう。組織の

業務委託について伺います。
町長 当初は観光協会が望ましいと考えていました。
質問 現観光協会の自立運営を望むのですか。
産業観光課長 自分達のビジョンを生かし信濃町に協力をしながら活動をしたいです。
質問 農政について、農業公社も視野にと答弁されたが、その後どのように対応していますか。
町長 私案としては、民間の会社のような製造部、これは農家で。営業部は「ふるさと天望館」とし、そのほかに品質保証部、企画開発部、総務経理部と、機能を持たせたものと考えています。
質問 話し合いの機会を作りましたか。
産業観光課長 話し合いは必要です。プロジェクトを作る検討委員会の立



豪雪

織のための規約・計画の内容・役員構成などの見本例原案ができていますので、ホームページにアップする予定です。

雪害救助員の常駐化

質問 雪害救助員の関係でとても困っているとの声があります。栄村では、救助員の常駐化を何年も前から行っています。町も検討すべきではないですか。

町長 いろいろな方策を考えてみたい。

地域おこし協力隊を

導入しない理由は

町長「企業誘致、I・J・Uを優先させました」



吉岡 輝明議員

質問 人口減対策として、I・J・U、企業誘致・撤退の具体的な数の把握は。

住民福祉課長 届出時点での把握はしていません。

質問 町に1500軒ある別荘の所有者は私には宝物と思えますが、人口増対策としてそのデータベース作りや、ウェブサイトの活用をする考えはありませんか。

町長 データベースはまだ進めていませんが、ITを使った情報発信は必要だと思います。

質問 人口増対策で国の財政支援がある「地域

おこし協力隊」を、なぜ導入しないのですか。
町長 特段の理由はありませんが、企業誘致、I・J・Uを優先させました。

駅前商店街の活性化策は

質問 信濃町の玄関口である黒姫駅前商店街活性化についての考えは。

町長 国からの「町づくり補助金」や「にぎわい補助金」を活用して街灯整備やストリートイベントを計画しています。

ふるさと納税の拡大は

質問 今年ふるさと納税の件数と金額は。

総務課長 ふるさと応援寄付金については、昨年度21件87万円でしたが、今年は今時点ですら357件

増加しています。

町長 今年度末には最高額になるものと思われる。

質問 他の市町村ではふるさと納税のために様々な施策を講じているが、さらに拡大させる考えは。

町長 ふるさと納税については、ホームページで全国に向かって発信していくのが基本と考えます。



駅前商店街が昔の姿をとり戻す日は

町と観光協会との関係は

町長「観光協会は町にとって屋台骨である」



石川 広之議員

質問 新しい観光振興組織は。

産業観光課長 現観光協会がオール信濃町での組織編成を町へ求める中、協議を進めています。

質問 新組織のメンバーは。また、協議はしましたか。

産業観光課長 現観光協会、信濃町旅館組合、商工会、信濃町、学識経験者などです、すでに3回目の協議に入っています。

質問 北しなの線黒姫駅

業務委託について伺います。
町長 当初は観光協会が望ましいと考えていました。
質問 現観光協会の自立運営を望むのですか。
産業観光課長 自分達のビジョンを生かし信濃町に協力をしながら活動をしたいです。
質問 農政について、農業公社も視野にと答弁されたが、その後どのように対応していますか。
町長 私案としては、民間の会社のような製造部、これは農家で。営業部は「ふるさと天望館」とし、そのほかに品質保証部、企画開発部、総務経理部と、機能を持たせたものと考えています。
質問 話し合いの機会を作りましたか。
産業観光課長 話し合いは必要です。プロジェクトを作る検討委員会の立



農業公社の設立を望む

ち上げは、条例がありません。
行政運営に必要な資格保持者の把握は

総務課長 採用試験時の

履歴書で、取得している資格を確認しています。

質問 半年ごとに契約の臨時職員(有資格者)に

対して、行政運営の責任を付与してよいのですか。

病院事務長 現状の問題意識は持っています。雇用条件等を町と相談、対応を考えます。

地震総合防災訓練の目的は

総務課長 「どんな災害にも対応できるような訓練です」



佐藤 仙治議員

質問 防災時に今回の訓練で十分な実効性が発揮できると考えますか。
町長 訓練を重ねながら改善点を見つれたり、更に良い方策、良い道具、設備の更新を図っていく必要があると考えられています。

質問 南木曾町・広島市の土砂災害から得た、ソフト面での教訓は。

町長 職員には災害用のマニュアルを配っています。各集落では、まず自助努力で援護を必要とする皆さんに手を差し伸べ

る(自主防災)組織づくりをお願いしています。

質問 避難勧告発令対象世帯数及び対象人員は。

総務課長 富士里地区全域対象で599戸、人数は1706人です。

質問 避難勧告内容の伝達は充分でしたか。

総務課長 事前に広報やチラシの配布、オフライン放送、総代へ通知もしてまいりました。当日は屋外放送並びに消防車両等による広報を注意して聞いていただいているので、ある程度伝わっていると思っております。

質問 職員の現住所に関し町内外の人数及び割合は。

総務課長 4月1日現在全職員(病院含む)は、207名で町外通勤者は79名(約38%)です。

一般質問

質問 北しなの線黒姫駅

富士里地区の皆へ
地震総合防災訓練のお知らせ

災害はいつおこるか分からないという意識のもと、地震や水害などの大規模災害時における防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、今年度は、富士里地区を重点に地震総合防災訓練を実施します。ぜひ、ご参加ください。

1. 日 時 平成26年8月31日(日) 午前9時から
2. 場 所 対象地の集会所に於ける下記の集会所にて訓練に参加してください。
(尚、参加者が集まらなれば、下記の第一会場集会所に集結していただきます。)

対象集落	第一会場集会所
高山	高山農産生活改善センター
坂南	坂南公民館
北原	北原農産生活改善センター
富が原	富が原農産生活改善センター
原	原農産生活改善センター
駒名	駒名農産生活改善センター
城野	城野農産生活改善センター

※当日は、午前9時に避難勧告発令の要が解除され、オフライン放送、サイレン、消防車両による最終の呼びかけをしますので、戸締り・火の元を確認して、集結場所まで歩いて避難訓練を開始してください。
※上記以外の集落の方は、旧富士里小学校グラウンドにて訓練に参加していただきます。

3. 内 容 大規模の発生を想定して避難訓練を行います。
また、各集会所において、消防団員による消火訓練等を行った後、消防団員による消火訓練、災害時の備えなどについてお話しさせていただきます。

[中止の場合は、午前7時30分にオフライン放送します。]

お問い合わせ先 町総務課庶務係 電話255-3111

訓練のチラシ(各集会所用)

質問 職員の現住所に関し町内外の人数及び割合は。
総務課長 4月1日現在全職員(病院含む)は、207名で町外通勤者は79名(約38%)です。

医師招へい活動は どのようにしてきましたか

事務長「主にコンサルタント の助言です」



青柳秀吉議員

質問 医師招へい活動は過去及び現在、どのような形で行ってききましたか。

事務長 平成17年に常勤医3名という事態があり、それ以降、町を挙げて招へい活動に取り組みました。同年度にコンサルト会社社の助言、地域住民の皆さんの協力を得ながら医師7〜8名で現在まで推移しています。

質問 医師招へいに関し、今後もコンサルタントを使うと解釈してもよろしいのですか。

事務長 現在、医師確保対策は病院のホームページ、業者が開設の医師募集サイトへの掲載、業者への訪問、全国病院協議会、県の医師対策室等への紹介、斡旋をお願いしているのが主な活動です。

質問 支払いは定額それとも出来高か、また、募集の概略を教えてください。

事務長 医師、看護師が正職員の場合、年収の20%相当額の報酬、臨時職員は額が低いので25%相当額の支払いです。質問 院内の先生方の出身大学に派遣依頼をするよう、医局内での話し合いは実施したことはありますか。



治療バイブル

事務長 患者さんが必要とする科の先生方をできるだけ招へいして、町立病院としてぜひ残していきたいと考えています。

自治体クラウドに 不参加の理由は 「不参加の理由は メリットが少ない」



湊喜一議員

質問 メリットが多い「自治体クラウド」の参加に迷っていると答弁していましたが、不参加の理由は何でしょうか。

町長 当初は県内8割の自治体に参加予定であったが、多くの自治体が抜けていき、メリットがなくなっていました。

総務課長 研究会等に参加してきましたが、費用の削減、職員の負担軽減、業務の標準化等、参加団体の減少でメリットが見込めなくなりました。

質問 公共施設等の全体計画は

を把握し、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことで、財政負担を軽減し、標準化することができます。町の認識と方針は。

総務課長 昭和40年代からの施設、道路、水道など、多くが更新時期を迎えて多額の維持建設費用が必要になり、今、作業を進めています。公営企業会計基準の改定等に伴い固定資産台帳の整備が必要で、公共施設総合管理計画策定と両輪で進める方向です。

ボランティアポイント制度の創設は

質問 元気な高齢者の社会参加促進や生きがいづくり等、介護予防につながる施策を、地域支援事業交付金を利用して創設



長寿命化計画により改修された上島橋

ボランティア活動に対して町からポイントを付与し、たまったポイントで商品と交換とか介護保険料の支払いに充てるなどに利用できるものです。住民福祉課長 非常にメリットの多い施策と認識しております。27年度から始まる介護保険制度の対応で直営事業が増えてまいります。制度設計に労力を傾注、優先させ、軌道に乗せたのち研究してまいります。

第410回定例会 9月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病欠・公務出張等により欠席・議決に参加 議長は議決に参加しない (-)

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	石川広之	宮川俊雄	佐藤仙治	佐藤武雄	永原和男	吉岡輝明	酒井聡	荒井賢蔵	森山の実	青柳秀吉	湊喜一	北村照明	橋崎一雄	小林幸雄
60	平成25年度信濃町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	平成25年度信濃町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	平成25年度信濃町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	平成25年度信濃町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	平成25年度信濃町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	平成25年度信濃町立病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	平成25年度信濃町立古海診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	平成25年度信濃町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成25年度信濃町水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成25年度信濃町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	平成25年度信濃町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	平成25年度信濃町特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	平成25年度信濃町個別排水処理施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	信濃町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	信濃町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	信濃町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	信濃町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	信濃町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	信濃町奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	信濃町過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	平成26年度信濃町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	平成26年度信濃町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	平成26年度信濃町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	平成26年度信濃町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	平成26年度信濃町立古海診療所特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	平成26年度信濃町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	平成26年度信濃町水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	平成26年度信濃町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	平成26年度信濃町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	平成26年度信濃町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	平成26年度信濃町個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	信濃町固定資産評価委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	信濃町固定資産評価委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	信濃町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願7号	集团的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願8号	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願	不採択	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願9号	政府による緊急の過剰米処理を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情5号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6号	国に対し、消費税率10%への増税中止を求める陳情書	採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議14号	集团的自衛権に関する閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないことを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議15号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議16号	消費税率10%増税の中止を求める意見書	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一般質問の記事と写真は質問者本人が作成します)

北信保健衛生施設組合議会臨時会 新斎場建設地の取得と 建設計画の概要決定

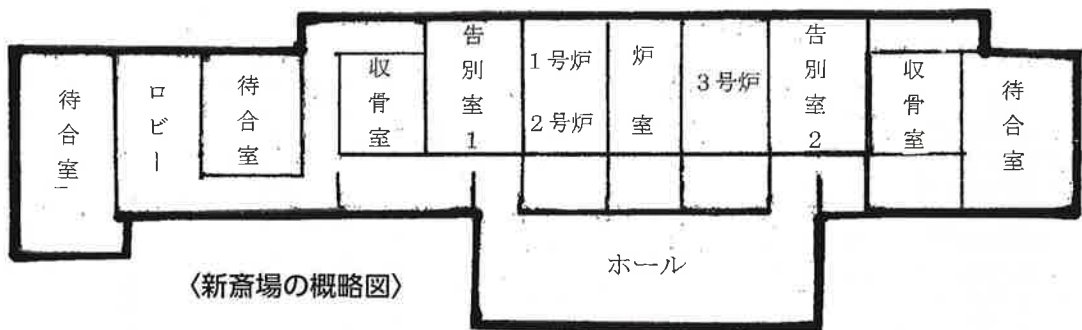
9月1日、中野市豊田支所で開催された標記議会で、懸案であった新斎場建設地の取得と、建設計画の概要が提案され、可決しました。当議会からは小林議長と荒井委員長が出席しました。

これは現川谷地籍の斎場が老朽化したことと、土砂災害警戒区域に指定されたために、新たに建設予定地の確保が必要となり、様々な経過がありました。今回ようやく決定したものです。

供用開始は平成28年4月を予定しています。

新斎場建設の計画概要

所在地	中野市大字豊津字大澤(豊田クリーンセンター近く)
敷地面積	19,000㎡
工事費	10億5千万円(火葬炉設備工事を除く)
火葬炉	3基
待合室	3室



議員の発言の自由と責任は

8月21日、議会議員会主催で議員の研修会を行いました。

私たち議員は、全員が「議員必携」を持っていきますが、今回の研修会では、その中から「発言」をテーマに選びました。

長野県町村議会議長会の宮寄康史氏を講師に、事例を多く使った研修と活発な質疑応答は、今後の議員活動にとって大変参考になるものでした。



議員のバイブル



熱心に聴く

町村議会議員研修

7月18日 松本市

今年の研修内容は人口減少と地域包括ケアシステムについてです。どちらも信濃町にとっては重要なテーマでした。



人口減少について聴く

ぎかい活動365日

26年7月から9月までの主なもの

林業活性化促進議員連盟 第19回総会・研修会

8月19日、上田市丸子文化会館で総会が開かれ、終了後、県林務部県産材利用促進室長から「森林所有者や林業関係者の努力によって県内の森林は着実に成熟している」という報告がありました。

その後、長和町に移動し、信州カラマツを原材料に構造用集成材や無垢羽目板を製造している工場を見学しました。



集成材の縦継ぎ作業場

電算システム共同化についての研修会

7月30日、上水内町村議会正副議長会主催で開催されました。

現在は、住民情報、税情報、福祉情報などの業務は個々の自治体で対応していますが、それを県内市町村で共同化することを検討しています。

「自治体独自政策への対応はどうなるのか」「セキュリティは」などの質問が出ました。信濃町は「メリットが見込めない」ということで参加していません。



独自政策への対応は

所管事務調査

社会文教常任委員会

「新・教育委員会制度」で意見交換

7月25日、社会文教常任委員会は、教育委員会の皆さんと懇談会を開き、来年4月に始まる「新・教育委員会制度」に関する意見交換を行いました。

懇談会の冒頭、新しく始まる制度についての詳しい説明がありました。

その中で、特に、教育委員長と教育長を一本化した「新・教育長」のあり方と、

「教育に関する大綱」について市町村長が直接策定できることについて、の重要項目である2点を中心に、教育委員会の皆さんと活発な意見交換を行いました。

その後、給食センターに場所を移して、衛生管理の状況など見学をした後、当日の給食を全員でいただきました。



新・教育委員会制度について議論

民生児童委員の皆さんとの懇談会

8月6日には、総合会館にて、民生児童委員の皆さんとの懇談会を、昨年引き続き行いました。

昨年12月に、民生児童委員の皆さんの改選がありましたので、初めて懇談会を

迎える方が多くおられました。

始めに、和田正協議会長さんから、現状の問題点や課題などを伺い、その後、災害時の対応や冬の除雪・雪下ろし体制などについて、各委員さんから貴重なご意見をいただきました。



民生児童委員との懇談会

うになります。

また、教育委員長と教育長を一本化した「新・教育長」が置かれます。「教育委員会制度」また、「子ども・子育て3法」の制定によって国は、幼児教育と保育に関する量の拡大と質の向上を積極的に図ることにしました。

それを受けて市町村は、幼児教育・保育・放課後児童クラブなどの基準を条例で定めることになりました。

(新・教育制度)

編集後記

議会だよりを一人でも多くの皆さんに読んでいただくとうと、試行錯誤を繰り返しています。

前回までと、一般質問の掲載ページを替えてみました。が、いかがでしたか。

ご意見や、写真・記事の投稿も受け付けています。

(はし)

FAX255・3081

こんにちは

でばん わたしの出番です

今回は、都会から移住された“古海大好き”の和田美佐子さんと、“神楽獅子舞”の継承にご熱心な吹野の大澤武彦さんの登場です。



新住人です

古海 和田 美佐子 さん

声をかけていただき、夏にはおいしい野菜のおすそわけをたくさん。本当に感謝です。

今年夏、念願の移住。

初めて古海を訪れたのは何年前かな？特に観光というわけではなく、夫がインターネットで見つけた古海の民宿に「行ってみようよ」ということで訪れました。

ことになりました。そのうちに住みたいと思う様になり、数年かけて家を探し、そして、ご縁があつて今の家に決まりました。

まだまだ町のことがわからず、右往左往しているところですが、本当にやさしい人に囲まれ、がんばっていきそうです。

なんとということでしょう。一度で大好きになつてしまいました。景色に惹かれ、宿のご夫婦に惹かれ、近所の方に惹かれ、その後通いつめる

しかし、すぐには移住できず、またまた数年間の古海通いでした。その間、雪かき、畑の作物作りを体験。初めてのことはかなりの私達に、親切に

「古海大好き」な二人をよろしく願います。友達にもたくさん遊びに来てもらい、みんなに信濃町や古海が素敵なおところだということをもっと知ってほしいです。



私と神楽獅子舞

吹野 大澤 武彦 さん

論、後持ちと一体になることがとても大切です。

また、もう一つ重要なことは、笛、太鼓、チャンチキの人達とも合わすことにより、素晴らしい神楽獅子舞となります。

私が最初に神楽獅子舞に興味を持ち実際に自分で伝統ある舞をやってみたいと思つたのは、30歳頃です。

うことにより、比較的早く舞を覚えることができました。二人が一組となつて行う神楽獅子舞は、「獅子頭」と「後持ち」との息が一致しないと、なかなかいい舞ができません。自分のことは勿

特に宵宮の神社奉納の際は緊張しますが、奉納後は充実感で満たされます。今後も伝統ある神楽獅子舞を継承し続けていきたいと思っています。

一茶と俳句

山のはや心で月を出してみる 文政句帖
文政七（一八二四）年 六十二歳

「山のは（端）」は、一茶が幼少からの馴染みの伊勢見山が想像される。一茶の家の東側に位置する低山である。光景は中秋の名月。月の鑑賞を待ちわびていた一茶。ところが、悪天候で叶わなかった。

でも一茶は諦めない。過去に見た名月を思い浮かべて、その日に置き換えての作。

一茶が月を詠んだ句が一七句ほどある。知られている句に「そば時や月のしなの、善光寺」

「あの月をとつてくれると泣く子哉」。

こんな句もある「汁の実を取りに出ても月よ哉」「里の火の古めかしたる月夜哉」。

竹内 恒男 抄出



平成九年建立
風間 袈裟信様宅碑

山のはや心で月を出してみる